

安倉八幡神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当社は神功皇后が仲哀天皇の遺志を継ぎ、征韓の業を遂げて凱旋され、寄島に寄泊した時に本島に天神地祇を奉祀した。

その後この霊地に応神天皇・仲哀天皇・神功皇后の三神を奉祀し氏神とした。

永禄年間に毛利氏の武将細川下野守道董が田畑20丁歩と宝物を寄進した。

本島は海上10丁余り隔てていたため、参拝に不便であったので慶長5年に現在の地に遷座した。

宝暦12年(1762)安倉地区が六条院西村の飛び地であったこともあり、真止戸山神社(鴨方町六条院中)を本宮とする五社の形態ができたとき、安倉八幡神社はその内の1社となり、五社巡りの神事が執り行われた。

明治9年に神社法が改正され、それまでは真止戸山神社の氏子であった安倉地区の住民は、安倉八幡神社の氏子として現在に至っている。その関係で真止戸山神社の境内に建立されている玉垣は、安倉地区の氏子が寄進したものが多くその名が留められている。また参道入口にある県下最大級の楠木は樹齢650年の巨樹である。

前の写真へ次

基本情報

神社コード 05105

神社名 安倉八幡神社(アクラハチマンジンジャ)

通称名 八幡様

旧社格 村社

鎮座地 〒714-0101 浅口市寄島町3204

電話番号

FAX番号

駐車場 有 10台

御祭神 応神天皇, 仲哀天皇, 神功皇后

御神徳 漁業繁栄, 海上安全

主な祭典 2月中旬土、日曜日: 御日待祭
10月第1土曜と翌日: 秋季例祭
11月24日: 新嘗祭

宮司宅電話 0865-44-3963

URL

e-mail

特記事項 2月中旬の土、日曜日に行われる御日待祭(おひまちさい)は近郷稀な規模を誇る) 神木の楠木(くすのき)は樹齢650年を数え、県下最大級の巨樹

氏子地域 浅口市（寄島町西安倉、寄島町中安倉、寄島町東安倉）

交通アクセス

J R山陽本線鴨方駅から南へ 5 k m

神事一覧

日待祭（神輿行事）	祭礼日時：10月	文化財指定： 無	神事詳細
神輿行事（お日待祭）	祭礼日時：2月	文化財指定： 無	神事詳細
神明祭（とんど）	祭礼日時：2月	文化財指定： 無	神事詳細
式年祭	祭礼日時：1月	文化財指定： 無	神事詳細

[検索画面に戻る](#)



© 2016 Okayamaken Jinjacho